RV34xシリーズルータでのApplication Controlの 設定

目的

Application Controlは、ルータ上の追加セキュリティ機能であり、セキュリティで保護されたネットワークを強化し、職場の生産性を向上させ、帯域幅を最大限に活用できます。アプリケーション制御は、スマートフォンやその他のブラウザベースのアプリケーションに便利です。ワイヤレスアクセスポイント(WAP)をルータに接続すると、ルータはWAPに接続されているホストへのトラフィックを許可または拒否できます。これにより、ユーザが一部のアプリケーションにアクセスできなくなります。

この記事では、Application Control Wizardを使用してRV34xシリーズルータでApplication Controlを設定する方法と、手動設定を使用してApplication Controlを設定する方法について説明します。

該当するデバイス

• RV34xシリーズ

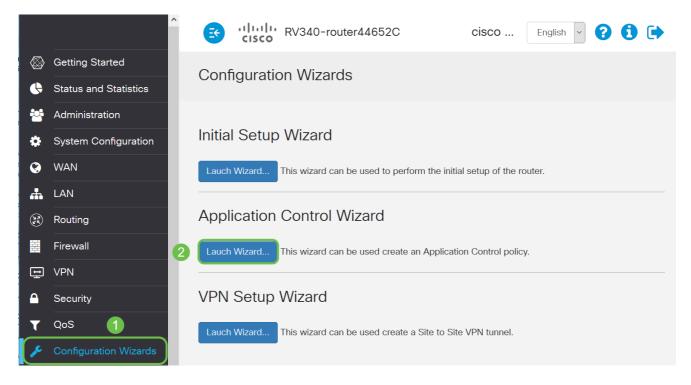
[Software Version]

1.0.02.16

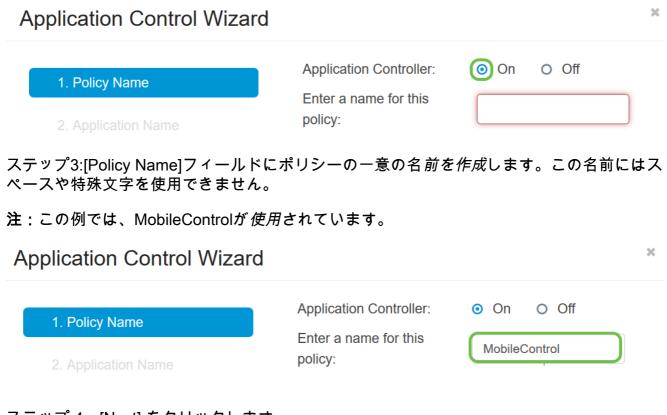
アプリケーション制御の設定

アプリケーション制御ウィザードを使用する

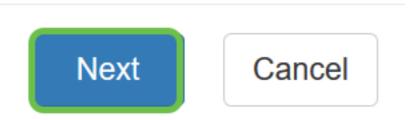
ステップ1:Webベースのユーティリティにログインし、[Configuration Wizards] > [Launch Wizard...]を選択します。.



ステップ2:[オン(On)]ラジオボ**タンをクリ**ックして、アプリケーションコントロ*ーラを有効にしま*す。この機能はデフォルトで無効になっています。



ステップ 4: [Next] をクリックします。



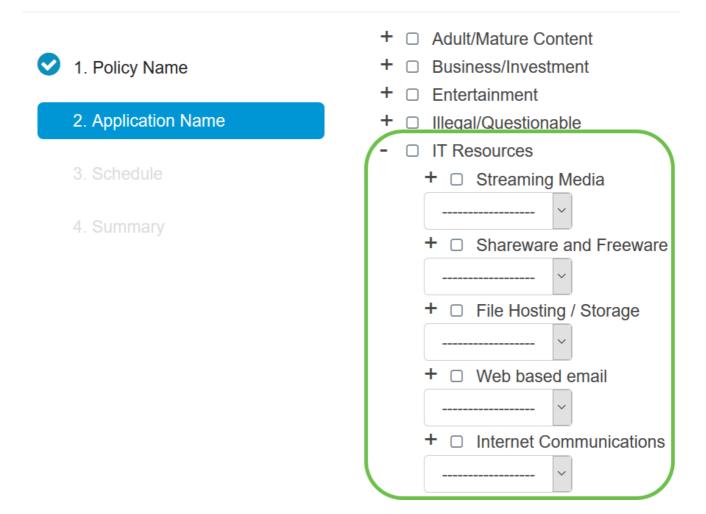
ステップ5:[Edit]ボタンをクリックして、データのフィルタに使用するパラメータとカテゴ

リを定義します。

| 1. Policy Name | Enter the application names to be blocke | ed: Edit |
|---------------------|--|----------|
| 2. Application Name | Application List Table | ^ |
| 3. Schedule | Category ♦ Application ♦ Beh | avior \$ |

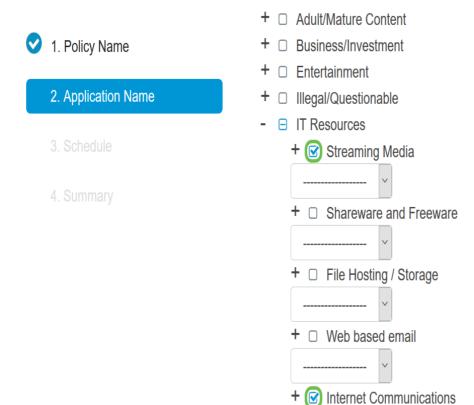
ステップ6:カテゴリの横にある[+]をクリックして、サブカテゴリと特定のアプリケーションを展開し、表示します。または、すべてのカテゴリとそのサブカテゴリを表示するには、ページの下**部にある**[展開]をクリックします。

注:この例では、[IT Resources]が拡張されたカテゴリです。



ステップ7:ポリシーに適用するカテゴリとサブカテゴリのチェックボックスをオンにします。

注:この例では、[Streaming *Media*]と[*Internet Communications*]は、例として使用される[IT Resources]の下のサブカテゴリです。



ステップ8:(オプション)ポリシーに適用するアプリケーションの横にあるドロップダウンリストをクリックします。必要に応じて、この手順を繰り返します。次のオプションがあります。

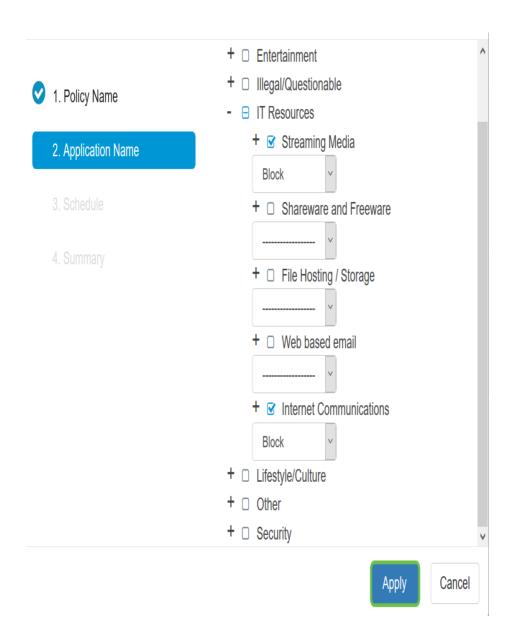
- Permit & Log:データのフローが許可され、ログが記録されます。
- Permit:データが許可されます。
- ブロック: データがブロックされます。
- ブロックとログ: データがブロックされ、ログに記録されます。

注:[システムの構成] > [ログ]を選択して、ルータでロギングが有効に**なっていることを確認します**。[有効]チェ**ックボック**スをオンにし、[適用]をクリ**ックします**。

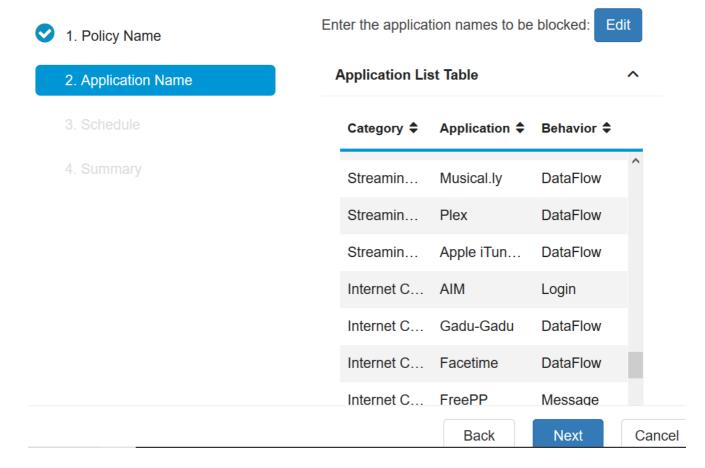


注:この例では、Blockはストリーミングメディアに使用されます。

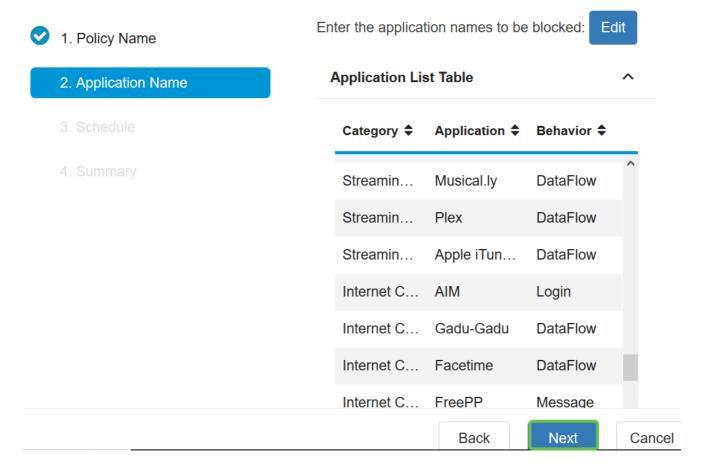
ステップ9:[Apply]をクリ**ックします**。設定ウィザードの2ページ目に戻ります。



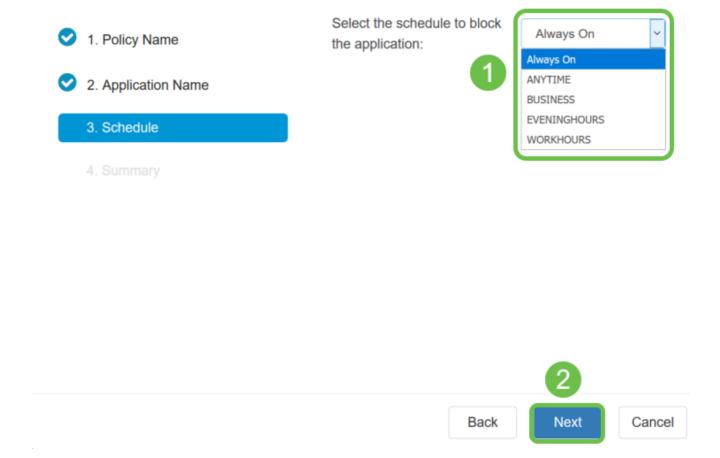
注:[Application List Table]に、選択したカテゴリとアプリケーションが入力されます。



ステップ10:[次へ]をク**リック**して、[スケジュール]ページに移動します。

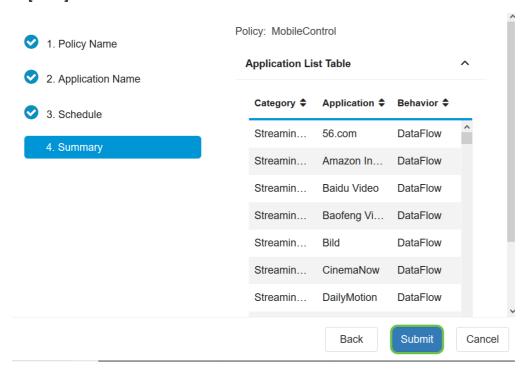


ステップ11:[Schedule(スケジュール)]ドロップダウンリストから、ポリシーを設定する スケジュールを選択します。オプションは、以前に定義したスケジュールによって異なりま す。スケジュールを設定するには、[システム構成] > [スケジュ**ール]に移動します**。[next] を



注:この例では、[常にオン]が使用されています。

ステップ12:[Summary]ページが表示されます。[Application Control Policies]テーブルに、設定したポリシーが入力されます。サマリーページで設定を確認し、[送信]をクリ**ックします**。[戻る]をクリックして、設定を変更できます。



ステップ13:ポップアップウィンドウが開き、アプリケーションコントロールポリシーが 正常にセットアップされたことが表示されます。[OK] をクリックします。

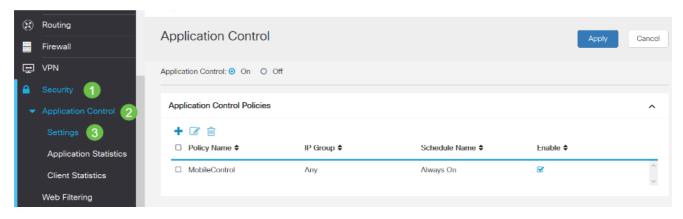




Congratulations, your Application Control Policy has been set up successfully.



ステップ14:新しいポリシーを表示するには、[Security] > [Application Control] > [Settings]に移動します。

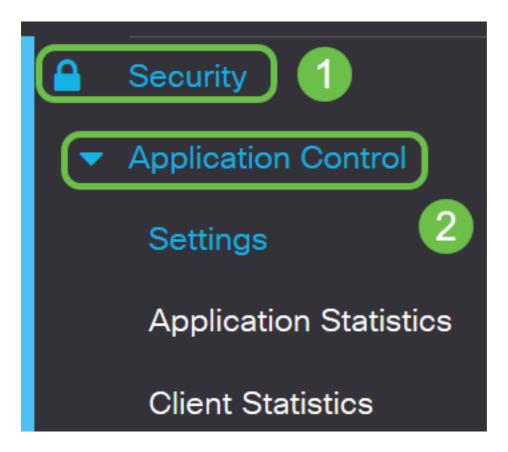


これで、アプリケーション制御ウィザードを使用してアプリケーション制御ポリシーを正しく設定できました。

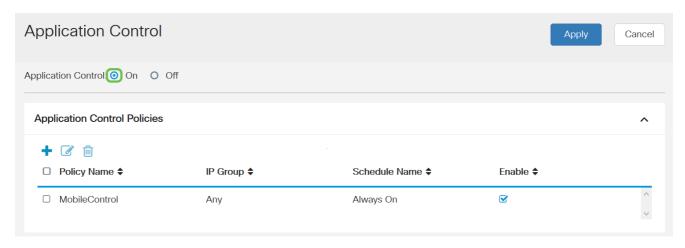
手動設定

注:ウィザードで設定したポリシーの場合、この領域ではポリシーをさらに定義して調整できます。

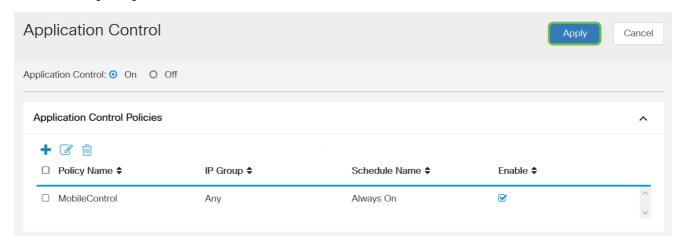
ステップ1:Webベースのユーティリティにログインし、[Security] > [Application Control]を **選択します**。



ステップ2:[On Application Control]**ラジオボタンをク**リックして、Application Control機能を有効にします。この機能はデフォルトで無効になっています。

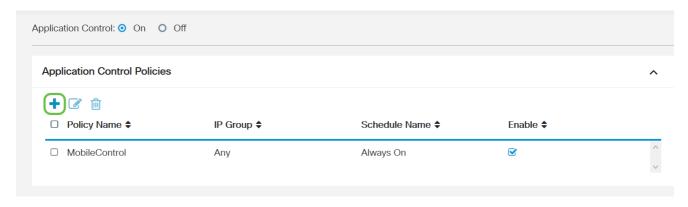


ステップ.3 [適用]をクリ**ックします**。



ステップ4:[Application Control Policies]テーブル**のプラス**アイコンをクリックして、アプリ

ケーション制御ポリシーを作成します。



ステップ5:ポリシーの名前を作成します。この名前にはスペースや特殊文字を使用できません。

注:この例では、SportsPolicyが使用されています。

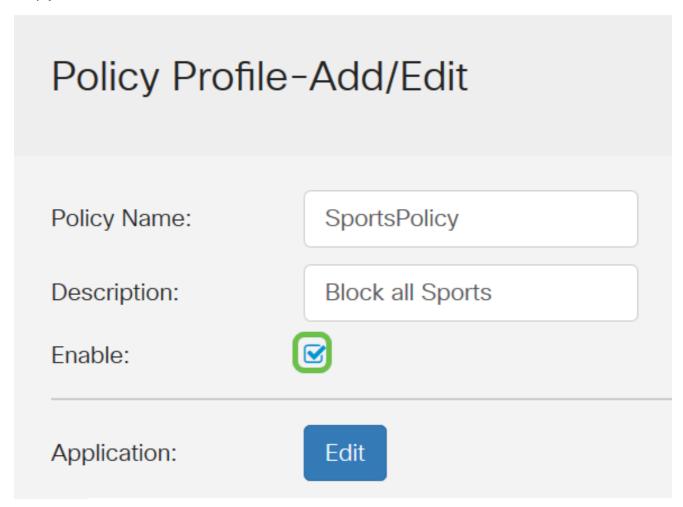
| Policy Profile-Add/Edit | | | | |
|-------------------------|--------------|--|--|--|
| Policy Name: | SportsPolicy | | | |
| Description: | | | | |
| Enable: | | | | |
| Application: | Edit | | | |

ステップ6:[説明]フィールドで、ポリシーの説明を作成します。

注:この例では、[すべてのスポー*ツをブロック]が*使用されています。

| Policy Profile-Add/Edit | | | | |
|-------------------------|------------------|--|--|--|
| Policy Name: | SportsPolicy | | | |
| Description: | Block all Sports | | | |
| Enable: | | | | |
| Application: | Edit | | | |

ステップ7:[Enable] チェックボックスをオンにして、この特定のポリシーをアクティブにします。



ステップ8:[Edit Application] ボタンをクリックして、ポリシーに適用するパラメータを定義 および調整します。

| Policy Name: | SportsPolicy |
|--------------|------------------|
| Description: | Block all Sports |
| Enable: | |
| Application: | Edit |

ステップ9:ポリシーに適用するカテゴリとサブカテゴリのチェックボックスをオンにします。

| Policy Profile-Add/Edit Categories |
|------------------------------------|
| + □ Adult/Mature Content |
| + □ Business/Investment |
| + □ Entertainment |
| + □ Illegal/Questionable |
| + □ IT Resources |
| + □ Lifestyle/Culture |
| + □ Other |
| + □ Security |

ステップ10:カテゴリの横にある[+]**をクリック**して、サブカテゴリと特定のアプリケーションを展開して表示します。または、すべてのカテゴリとそのサブカテゴリを表示するには、ページの下**部にある**[展開]をクリックします。

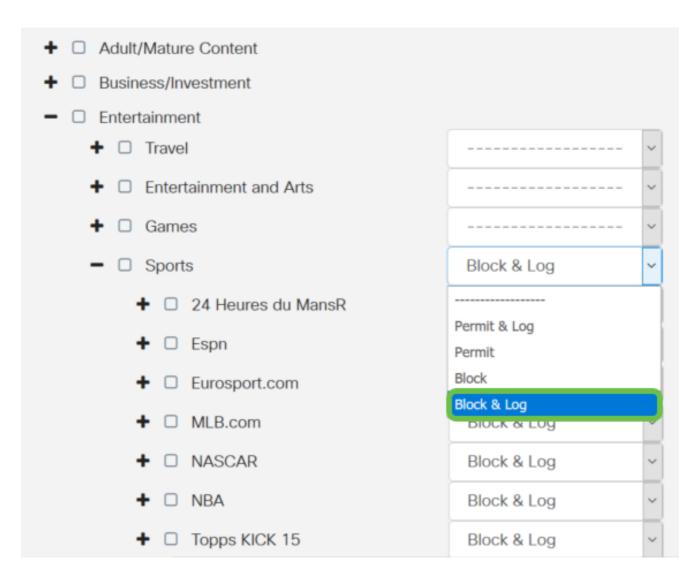
注:この例では、[エンターテイメント]と[/sports]が選択されます。

| ♣ □ Adult/Mature Content | |
|----------------------------|----------------------|
| → □ Business/Investment | |
| ■ □ Entertainment | |
| ◆ □ Travel | ×- |
| ♣ □ Entertainment and Arts | , , , , |
| + □ Games | > |
| ■ □ Sports | > |
| → □ 24 Heures du MansR | > |
| + □ Espn | * |
| + □ Eurosport.com | . ×. |
| → □ MLB.com | 1 ×1 |
| → □ NASCAR | * |
| + □ NBA | ** |

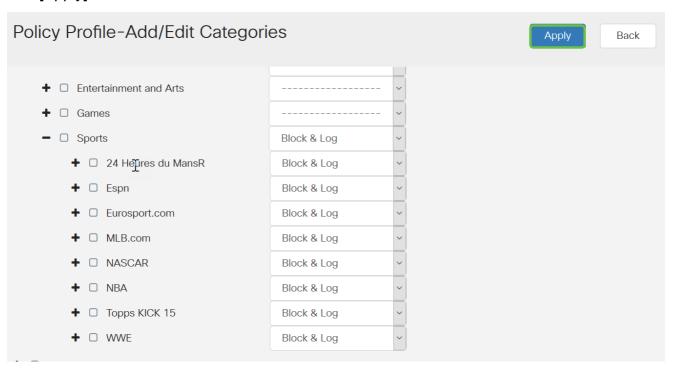
ステップ11:(オプション)ポリシーに適用するアプリケーションの横にあるドロップダウンリストをクリックします。必要に応じて、この手順を繰り返します。次のオプションがあります。

- Permit & Log:データのフローが許可され、ログが記録されます。
- Permit:データが許可されます。
- ブロック: データがブロックされます。
- ブロックとログ: データがブロックされ、ログに記録されます。

注:この例では、[スポーツ]に[ブ*ロック&ログ]*が選択されています。



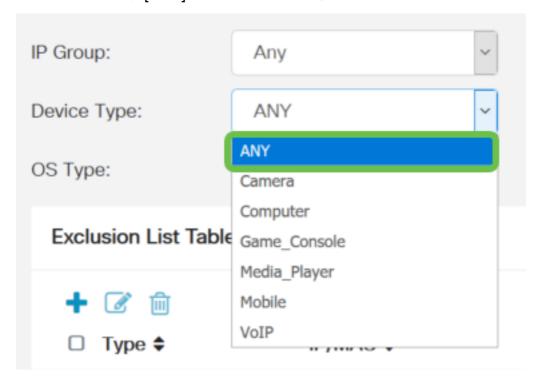
ステップ12:[Application List Table]に、選択したカテゴリとアプリケーションが入力されます。[Apply] をクリックします。



ステップ13:[Device Type]ドロップダウンリストから、フィルタリングするパケットの送信元または宛先を選択します。一度に選択できるオプションは1つだけです。次のオプションがあります。

- [ANY]:任意のデバイスにポリシーを適用するには、これを選択します。
- [カメラ(Camera)]:カメラ(IPセキュリティカメラなど)にポリシーを適用します。
- [コンピュータ]:ポリシーをコンピュータに適用するには、これを選択します。
- [Game_Console]:このポリシーをゲームコンソールに適用します。
- Media_Player:ポリシーをMedia Playerに適用するには、これを選択します。
- [モバイル(Mobile)]:このポリシーをモバイルデバイスに適用します。
- [VoIP]:ポリシーをVoice over Internet Protocol(VOIP)デバイスに適用するには、これを選択します。

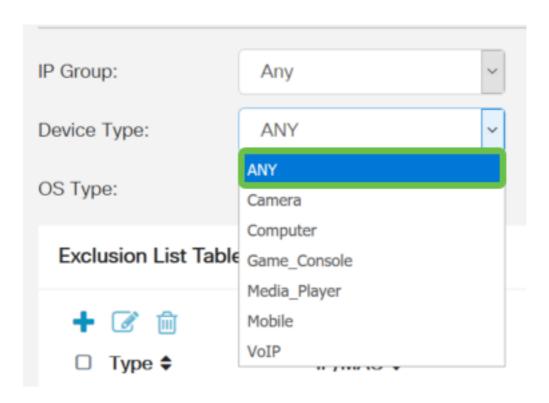
注:この例では、[ANY]が選択されています。



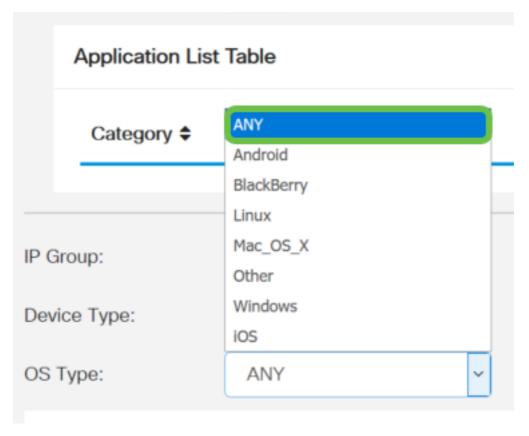
ステップ14:[OS Type]ドロップダウンリストから、ポリシーを適用するオペレーティングシステム(OS)を選択します。一度に選択できるのは1つだけです。次のオプションがあります。

- [ANY]:任意のタイプのOSにポリシーを適用します。これはデフォルトです。
- [Android]: Android OSだけにポリシーを適用します。
- BlackBerry:ポリシーをBlackberry OSのみに適用します。
- Linux:Linux OSだけにポリシーを適用します。
- Mac_OS_X:ポリシーをMac OSのみに適用します。
- [その他]: リストにないOSにポリシーを適用します。
- Windows:ポリシーをWindows OSに適用します。
- iOS:ポリシーをiOS OSのみに適用します。

注:この例では、[ANY]が選択されています。



ステップ15:[IP Groups]ドロップダウンリストか*らIPグル*ープを選択します。オプションは、IPグループが事前に設定されているかどうかによって異なります。デフォルトは[Any]です。



ステップ16: (オプション)除外リスト表**の下のプラス**アイコンをクリックして、特定のユーザーをポリシーから除外します。

| IP Group: | Any | ~ | | | |
|----------------------|-----------------|----------|----------------------|------------------|---|
| Device Type: | ANY | ~ | | | |
| OS Type: | ANY | V | | | |
| Exclusion List Table | е | | | | |
| + 🗷 🛍 | | | | | |
| ☑ Type \$ | IP/MAC ♦ | | Device Type ♦ | OS Type ♦ | |
| ☑ Any | Any | | ANY | ✓ ANY | ~ |

ステップ17:[Type]ドロップダウンリストから、ポリシーから除外するアドレスのタイプを 選択します。次のオプションがあります。

- [MAC]:ポリシーから除外するMACアドレスを指定します。
- [IPv4 IP Address]:ポリシーから除外する単一のIPv4アドレスを指定します。
- [IPv4 IP Range]:ポリシーから除外するIPv4アドレスのホスト範囲を指定します。それぞれのフィールドに開始IPアドレスと終了IPアドレスを入力します。
- [IPv6 IP Address]:ポリシーから除外する単一のIPv6アドレスを指定します。
- [IPv6 IP Range]:ポリシーから除外するIPv6アドレスのホスト範囲を指定します。それぞれのフィールドに開始IPアドレスと終了IPアドレスを入力します。

注:この例では、IPv4 IP Addressが使用されます。

| Exclusion List Table | | | | | | |
|----------------------|-------------------------------|-----------------|----------------------|------------|---|--|
| | ☑ iiii Type \$ | IP/MAC ≑ | Device Type ♦ | OS Type \$ | | |
| ♥ | Any ~ Any MAC | Any | ANY | ANY | ~ | |
| | IPv4 IP Address IPv4 IP Range | | | | | |
| Schedul | IPv6 IP Address IPv6 IP Range | ays On V | | | | |

ステップ18:[IP]フィールドにIPv4アドレス*を入力*します。

注:この例では、192.168.1.114が使用されています。

ステップ19:ポリシーから除外するデバイスタイプを選択します。

注:この例では、[ANY]*が選択*されています。

| os | Type: | ANY | ~ | ANY |) | |
|----|---------------------|-------------------|----|------------------------------|------------------|---|
| E | xclusion List Table | е | | Camera Computer | | |
| | + 🕜 🛍 | | | Game_Console Media_Player | | |
| ١. | | IP/MAC ♦ | | Mobile VoIP | OS Type ♦ | |
| | ☑ IPv4 IP Addre | ess V 192.168.1.1 | 14 | ANY | ANY | ~ |

ステップ20:ポリシーから除外するOSタイプを選択します。

注:この例では、[ANY]が選択されています。

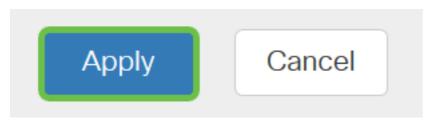
| OS Type: | ANY | ~ | ANY | |
|----------------------|-----------------|---|---------------------------|-------------------|
| Exclusion List Table | 9 | | Camera Computer | |
| + 🕜 🛍 | | | Game_Console Media_Player | |
| ☑ Type \$ | IP/MAC ♦ | | Mobile VoIP | OS Type \$ |
| ☑ IPv4 IP Addre | 192.168.1.114 | | ANY | ANY |

ステップ21:[Schedule (スケジュール)]ドロップダウンリストから、ポリシーを設定するスケジュールを選択します。オプションは、以前に定義したスケジュールによって異なります。スケジュールを設定するには、[システム構成] > [スケジュ**ール]に移動します**。

注:この例では、[常にオン]*が選択*されています。

| Exclusion List Table | | | | | | |
|----------------------|--------------------------|---|----------------------|------------------|---|--|
| + | | | Device Type ♦ | OS Type ≑ | | |
| ☑ IPv4 IF | Addre Always On ANYTIME | | ANY | ANY | V | |
| | BUSINESS EVENINGHOURS | | • | | | |
| Schedule: | WORKHOURS Always On | ~ | | | | |

ステップ22:[Apply]をクリ**ックします**。



ステップ23:(オプション)設定を永続的に保存するには、[保存]アイコンをク**リック**します。

cisco (admin) English V 0 0 (

注:この設定を永続的に保存する場合は、実行コンフィギュレーションをスタートアップコ

ンフィギュレーションに保存してください。

これで、RV34xシリーズルータのApplication Control機能が正しく設定されました。

次の記事も参考になります。RV34xシリーズルータに関するFAQ

このサイトには、興味深い記事へのリンクが掲載されています。<u>RV34xシリーズルータ製品ページ</u>

この記事に関連するビデオを表示...

シスコのその他のテクニカルトークを表示するには、ここをクリックしてください